

平成30年度

事業報告書

社会福祉法人 平取福社会 本部

法人本部事業報告書

1. はじめに

国が進める社会福祉法の公益性や非営利性に対応すべく経営組織や財務規律を見直し地域社会に貢献すべき法人本来の役割を果たしていくよう平成28年3月より社会福祉法等の一部の改正に基づき、平取福社会においても法律に基づいた定款等の改正を行い法人の運営の見直し並びに経営の改善に向け理事、監事、評議員は常勤、非常勤の有無にかかわらず、その職務に応じた注意義務をもって職務にあたることを求められております。

2. 法人全体の収支決算の状況

各拠点区分会計を合わせた法人全体の資金収支計算書における決算では、事業活動による収支差額がマイナス20,128千円、施設整備等による収支差額がマイナス14,056千円、その他の活動による収支差額が23,924千円となっており、これを合算した平成30年度の当期資金収支差額の合計がマイナス10,260千円となったところであります。しかし、差額には積立金取崩収入額として33,383千円含まれています。また、法人取り巻く各施設の運営については依然として厳しい経営状況となっており、特にかつら園については増収を図るべき定員を5名を増やしましたが11月下旬から2月上旬にかけて体調を崩し入院される方が多発したことから当初予算見込みを下まわることとなりました。

3. 法人本部の運営状況

平成30年度は、理事会7回、評議員会を5回それぞれ開催し、各拠点の事業の実施に向けた協議や各種規程の見直し、更には胆振東部地震による各施設の被害対策等について取り組んだところです。

法人本部の機能の一元化につきましては、平成29年8月に本部事務局を設置したところですが、次年度以降についても各施設で行っております人事管理や経理事務の本部集約化についても継続的に進めて参ります。また、事業実施計画及び資金収支計画などの中期計画の策定においては、将来にわたり必要な事務事業と持続可能な施設経営とのバランスを長期的な展望にたって見通せるものでありまして、今後ともこの計画を基本として各施設の事業を推進いたしたいと考えています。また、毎年実施しております法人各施設の最大の行事の内、収穫祭並びに敬老会については、胆振東部地震の影響により自粛をしたところで御座います。

平成30年度 事業報告書

社会福祉法人平取福社会

障害者支援施設 すずらん

就労継続支援事業所 さるがわ

共同生活援助事業所 せきえい

目 次

1	はじめに	1
2	施設経営等について	1
3	障害者支援施設すずらん事業内容について	1～2
	(1) 生活介護事業	
	(2) 施設入所事業	
4	就労継続支援事業所さるがわの事業内容について	2～3
	(1) 農産事業	
	(2) 林産事業	
	(3) 木工事業	
	(4) 施設外支援事業	
	(5) 施設外就労事業	
	(6) 受託支援事業	
5	共同生活援助事業所せきえい(グループホーム)の事業内容について	3
6	障害者支援施設すずらん拠点区分収支決算について	3
7	添付資料	4～9
	(1) 利用者出身地別調べ	
	(2) 利用者程度別年齢別調べ	
	(3) 利用者月別利用状況調べ	
	(4) 利用者重複障害状況調べ	
	(5) 利用者傷害区分判定状況調べ	
	(6) 主な利用者各種行事及び健診等の状況について	

1 はじめに

障害者支援施設すずらんは、道内4番目となる精神薄弱者授産施設として昭和59年に開設し、35年を経過したところであります。

開設以来、平取町、後援会・地域の方々、保護者の方々などからご愛顧をいただきながら、障害者福祉のご理解・ご支援・ご協力を賜りましたこと深く感謝申し上げます。

年月が経過していく間に、幾度かの制度改正があり、平成24年度から改正となった障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(障害者総合支援法)に基づき、障害者支援施設すずらんについては、生活介護事業・施設入所事業、就労継続支援事業所さるがわは、就労継続支援B型事業、また、共同生活援助事業所せきえいでは、共同生活援助事業を行い、地域生活を支える多様な事業展開と共に就労に関する支援を充実させ一般企業への就労を含めた社会活動への参加を促進するなど、利用者の自己実現を目指し支援を行ってまいりました。また、障害者虐待防止法及び障害者差別解消法などを遵守し適正なサービスの提供と質の向上に努めてまいりました。

2 施設経営等について

施設経営にあたっては、平取福社会の「事業執行方針」及び当施設の「事業計画」に基づき法人の経営の基本方針を遵守し、個人尊厳の基本理念をもとに利用者と職員の心のふれあい、安全確保を重点と捉え、日々のあらゆる場面での支援に努めてまいりました。

すずらん・さるがわ・せきえいがそれぞれの専門的立場に立って地域福祉のニーズに対しての地域社会で生活していくための必要なサービスを十分に受けることができるよう、関係機関との連携を密にし、利用者の支援サービスに努めたところであります。

また、施設の行事の実施にあたっては、利用者の希望を取り入れるなど、利用者本位なるよう努めてまいり、季節にあった行事や旅行、買い物外出、見学会、食事会など計画実施してきました。

毎年実施しております当施設の最大イベントである収穫祭については、地域の方々の期待もありましたが、胆振東部地震(震度6弱)の発生により自粛し中止とさせていただきますこと深くお詫び申し上げます。

3 障害者支援施設すずらんの事業内容について

(1) 生活介護事業

利用者の心身の状況等に応じての介護や介助サービスの基本に捉え、状

況に応じて軽作業等も取り入れながら健康の維持と合わせ、安心・安全な生活環境を確保し、その他の便宜を適切かつ効果的に行ってまいりました。

(2) 施設入所事業

利用者が日中活動と併せて夜間において介護や介助をして、その人らしい生活を営むことができるよう支援し、生活の充実に努めてまいりました。

また、心身が衰え介護や介助を受ける利用者が年々増えつつあることを申し添えます。

4 就労継続支援事業所さるがわの事業内容について

(1) 農産事業

農産事業につきましては、馬鈴薯・根わさびでやや収入増となり、人参・南瓜・加工品につきましては、収量が少なく減収になっておりますが、原因として、天候及び管理的に不十分なことがあげられることと利用者の加齢による作業能力の低下が目立ってきています。

今後は、農産物の縮小を視野に入れ、利用者にとって無理のない物に転換する必要がありますので、十分な検討が求められています。

(2) 林産事業

林産事業につきましては、ホダ木の管理不十分なため収量減が目立ち、大幅な減収となっております。くん炭の製造につきましては、やや増収となっております。好評をいただいております。

今後の見通しとして、椎茸栽培については、現状の保有ホダ木を活かし、最小限の経費で行いますが、将来的には、採算が合わない傾向から廃止の方向に向けて考えています。

(3) 木工事業

木工事業につきましては、イベント販売・委託販売・受注生産が減収となっておりますが、12月に中央競馬馬主社会福祉財団の助成金をいただき導入したレーザー彫刻加工機で、若干ではありますが受注数が増えてきている状況が見受けられますので、今後に期待を寄せています。

(4) 施設外支援事業

施設外支援事業につきましては、8件の実習先がありましたが、そのうちの1件につきまして、企業側の体制変更がありましたが、やや減収となる結果となりました。

今後は、利用者を理解した新たなる実習先を開拓に努めたいと考えています。

(5) 施設外就労事業

施設外就労事業につきましては、ニセウエコランド等の環境整備を依頼されておりましたが、計画では4月から9月末までの作業でしたが、依頼先の新たなる人を雇用したため、春のみの実施となり、予算的には減収となる結果となりました。

今後は、依頼先とも十分な協議の上、通常の作業となるよう交渉に努めます。

(6) 受託支援事業

受託支援事業につきましては、施設内調理実習と洋服の仕立て直しを実施し、前年度と変わらない収入となっております。

5 共同生活援助事業所せきえい(グループホーム)の事業内容について

グループホームについては、せきえい・はばたき・ほろしり・あえぞら・きみかけ・みなもとの6か所を運営しており、利用者が地域において自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう利用者の身体・精神の状況並びに環境に応じての相談援助に取り組んできたところです。

また、年度途中により看護師の配置・職員体制の変更を行い大幅な増収があったところです。次年度は、一人暮らしに近い形態のサテライト型住居(平取町の単身者住宅借用)を取り入れ更なる収益アップを目指します。

6 障害者支援施設すずらん拠点区分収支決算について

資金収支計算書による事業活動収入は、256,648,619円で事業活動支出は、254,272,837円、事業活動資金収支活動差額は、2,375,782円、施設整備等収支・その他の活動収支を含め、当期資金収支差額は、1,851,267円で決算したところであります。

今年度につきましては、胆振東部地震(震度6弱)があり、余震についても続きましたが、利用者の安全確保に努めてまいりました。また、予知せぬできごとであり、安全第一を心に刻んだところであります。

感染症につきましても、大きな発生もなく安堵したところでありますが、これからも徹底した予防に努めたいと考えています。

最後になりますが、平成30年度の事業執行の報告いたしました。事業を振り返り反省と改善をより一層高め、利用者と一緒に楽しみながらの生活と安心した支援に努めたいと考えていると共に、皆様方のご理解・ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(1)利用者出身地別調べ

平成31年3月31日現在(人)

市町村名	居住場所									日中活動					
	施設入所			グループホーム			一人暮らし/通所			生活介護			就労継続支援B		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
平取町	6	6	12	5	1	6	1	1	2	7	5	12	5	3	8
日高町	3	3	6	1	1	2	0	0	0	4	3	7	0	1	1
新ひだか町	4	0	4	2	0	2	0	0	0	3	0	3	3	0	3
浦河町	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0
様似町	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0
えりも町	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1
日高管内計	15	11	26	8	2	10	1	1	2	16	9	25	8	5	13
厚真町	2	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0
むかわ町	0	2	2	1	0	1	0	0	0	0	2	2	1	0	1
上士幌町	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
白糠町	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
釧路町	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
厚岸町	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
訓子府町	1	1	2	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0
清里町	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
広尾町	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
他管内計	4	5	9	4	0	4	0	0	0	3	4	7	5	1	6
芦別市	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
恵庭市	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
函館市	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0
岩見沢市	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	2	2
釧路市	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
帯広市	1	2	3	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	2
苫小牧市	1	0	1	1	0	1	0	0	0	1	0	1	1	0	1
富良野市	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	2
千歳市	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
札幌市	5	3	8	3	0	3	0	0	0	4	3	7	4	0	4
市計	8	7	15	3	2	10	0	0	0	6	6	12	10	3	13
合計	27	23	50	20	4	24	1	1	2	25	19	44	23	9	32

(2)利用者程度別年齢別調べ

平成31年3月31日現在(人)

障害程度区分 年齢別(歳)	1		2		3		4		5		6		未判定		合計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
【施設入所者】																	
20~29								1							0	1	1
30~39					1	1	1	1			1				3	2	5
40~49					2		3	2	1			2			6	4	10
50~59					1	2	5		1	2		1			7	5	12
60~69			1			2	3	4							4	6	10
70~					3		2	1	2	3		1			7	5	12
計	0	0	1	0	6	5	14	9	5	5	1	4	0	0	27	23	50
【グループホーム者】																	
20~29			1		1										2	0	2
30~39				1	2										2	1	3
40~49			2		5										7	0	7
50~59			1	1	3	2									4	3	7
60~69			1		3										4	0	4
70~			1												1	0	1
計	0	0	6	2	14	2	0	0	0	0	0	0	0	0	20	4	24
【一人暮らし・通所者】																	
20~29									1						1	0	1
30~39															0	0	0
40~49															0	0	0
50~59															0	0	0
60~69															0	0	0
70~														1	0	1	1
計	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	1	2
合計	0	0	7	2	20	7	14	9	6	5	1	4	0	1	48	28	76
	男	女	合計														
最低年齢	20	28															
最高年齢	82	80															
平均年齢	52.1	55.6	53.5														

(3)利用者月別利用状況調べ

平成31年3月31日現在(人)

年月日		30	30	30	30	30	30	30	30	30	31	31	31	所 属
		4/1	5/1	6/1	7/1	8/1	9/1	10/1	11/1	12/1	1/1	2/1	3/1	
居住場所	男	28	28	28	28	28	28	29	29	28	28	28	28	施設入所
	女	22	22	22	22	22	22	22	22	21	21	22	22	
	計	50	50	50	50	50	50	51	51	49	49	50	50	
	男	19	20	20	20	20	20	19	19	20	20	20	20	グループホーム
	女	4	4	4	4	4	4	4	4	5	5	4	4	
	計	23	24	24	24	24	24	23	23	25	25	24	24	
	男	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	通所
	女	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
	計	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
合計		75	76	76	76	76	76	76	76	76	76	76	76	
日中活動	男	24	24	24	24	24	24	24	25	25	25	25	25	(生活介護)
	女	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	19	19	
	計	42	42	42	42	42	42	42	43	43	43	44	44	
	男	24	24	24	23	23	23	23	23	23	23	23	23	さるがわ
	女	10	10	10	11	11	11	11	10	10	10	9	9	
	計	34	34	34	34	34	34	34	33	33	33	32	32	
合計		76	76	76	76	76	76	76	76	76	76	76	76	

(4)利用者重複障害状況調べ

平成31年3月31日現在(人)

区分	てんかん	統合失調症	その他の精神疾患	脳性麻痺以外の肢体不自由	視覚・聴覚障害	身体障害	合計
男	16	2	3	1	1(聴覚)	3	26
女	6	4	10	1		1	22
合計	22	6	13	2	1	4	48

(5)利用者障害程度区分判定状況調べ

平成31年3月31日現在(人)

区分	1	2	3	4	5	6	合計	平均	未判定
男	0	7	20	14	6	1	48	3.312	0
女	0	2	7	9	5	4	27	3.892	1
合計	0	9	27	23	11	5	75	3.526	1

(6)主な利用者各種行事及び検診等の状況について

月日	事 項	内 容 等
4	1	開園記念日 開園記念お祝い昼食会
	8	単独日帰り外出 札幌市へイベント見学 GH利用者1名
	21	単独日帰り外出 苫小牧市へ外出 GH利用者1名
	22	単独日帰り外出 苫小牧市へ買い物 GH利用者2名
5	3	単独日帰り外出 苫小牧市へ買い物 GH利用者6名
	5	単独日帰り外出 平取温泉ゆから GH利用者8名
	6	単独日帰り外出 平取温泉ゆから GH利用者2名
	10	花 見 会 施設正面駐車場にてジンギスカン食べカラオケで楽しむ。
	15	環境整備 すずらん・さるがわ分担にて園舎内外の清掃
	23	健 診 利用者健康診断
6	7	買い物外出 さるがわ利用者苫小牧市へ買い物外出 利用者4名・引率1名
	17	見 学 振内小学校運動会見学 利用者7名・引率1名
	21	避難訓練 消火器・避難訓練
	24	買い物外出 さるがわ利用者苫小牧市へ買い物外出 利用者9名・引率2名
	25	買い物外出 さるがわ利用者苫小牧市へ買い物外出 利用者4名・引率1名
	26	行事外出 日胆地方会パークゴルフ参加のため苫小牧外出 利用者4名・引率2名
	27	買い物外出 さるがわ利用者苫小牧市へ買い物外出 利用者8名・引率2名
	29	買い物外出 さるがわ利用者苫小牧市へ買い物外出 利用者9名・引率2名
7	6	単独日帰り外出 苫小牧市へ買い物 利用者1名・引率1名
	12	野外昼食会 すずらん・さるがわ利用者野外昼食会で楽しむ
	29	祭り見学 幌尻まつり見学 見学希望者
8	17	買い物等外出 苫小牧へ映画、買い物で楽しむ。未帰省利用者4名・引率1名
	25	行事外出 ふれあい広場に参加
	31	町内日帰り外出 振内じゃけんぼんで昼食 利用者2名・引率2名

月日	事 項	内 容 等
9	19 日帰り外出	札幌ドーム野球観戦のため外出 利用者3名・引率2名
	20 単独日帰り外出	札幌市へ買い物外出 GH利用者3名
	25 一泊旅行	定山溪温泉・小樽市方面へ一泊旅行 利用者7名・引率3名 ※胆振東部地震発生のため、沙流川まつり等中止
10	2 一泊旅行	旅行困難者 平取温泉ゆからへ宿泊 利用者1名・引率1名
	3 日帰り外出	魚釣りと買い物ため苫小牧市へ外出 利用者1名・引率1名
	5 日帰り外出	千歳空港・サケふるさと館等へ外出 利用者4名・引率2名
	14 見 学	振内小学校学習発表会見学 利用者3名・引率1名
	16 一泊旅行	登別温泉方面へ一泊旅行 利用者8名・引率5名
	22 一泊旅行	小樽・余市方面へ一泊旅行 利用者6名・引率3名 洞爺湖方面へ一泊旅行 利用者4名・引率3名
	25 避難訓練	自然災害避難訓練
	30 日帰り外出	三石・静内方面 利用者2名・引率2名 ※胆振東部地震発生のため、収穫祭中止
11	2 見 学	振内町民文化祭見学及び利用者作品展示
	8 施設内行事	収穫祭中止により、利用者中心に、秋まつり開催
	9 日帰り外出	登別温泉方面へ一泊旅行 利用者4名・引率2名
	12 一泊旅行	旭川方面へ一泊旅行 利用者5名・引率2名
	21 避難訓練	消火器・避難誘導訓練
	29 一泊旅行	帯広方面へ一泊旅行 利用者5名・引率2名
12	健 診	利用者健康診断
	2 健 診	女性利用者の子宮がん検診
	5 日帰り外出	還暦祝いを苫小牧市で祝う 利用者6名・引率2名
	6 施設内行事	もちつき
16 施設内行事	クリスマス会を交流ホームで楽しむ。	

月日	事 項	内 容 等
12	18 一泊旅行	函館方面へ一泊旅行 利用者2名・引率1名
	26 買い物等外出	振内町内での買い物・昼食 未帰省者1名・引率1名
1	3 日帰り外出	苫小牧へ映画、買い物で楽しむ。未帰省利用者3名・引率1名
	5 買い物等外出	振内町内での買い物・昼食 未帰省者1名・引率1名
	20 単独日帰り外出	平取温泉ゆから GH利用者3名
2	9 単独日帰り外出	札幌市へ買い物外出 GH利用者3名
	10 単独日帰り外出	苫小牧市へ買い物外出 GH利用者1名
	18 単独日帰り外出	苫小牧市へ買い物外出 GH利用者3名
	19 施設内行事	冬期レクリエーション 交流ホームで鍋料理を食べる。
3	5 施設内行事	すずらん慰労会 食堂にてビンゴゲーム等で楽しむ。
	施設外行事	さるがわ慰労会 日高町富川で昼食会を楽しむ。
	7 買い物等外出	苫小牧市での買い物・昼食 利用者2名・引率2名
	12 買い物等外出	苫小牧市での買い物・昼食 利用者2名・引率2名
	20 買い物等外出	苫小牧での、買い物等で楽しむ。未帰省利用者7名・引率3名
	21 単独日帰り外出	苫小牧での、買い物等で楽しむ。GH利用者2名
毎月	朝会・誕生会/ 診察	朝会・誕生会～月1回 診察～月1回石井病院医師34名 受診

平成30年度

事業報告書

社会福祉法人 平取福社会
特別養護老人ホーム平取かつら園
びらとりデイサービスセンター

目 次		
1	はじめに	1 ページ
2	施設経営について	1 ページ
(1)	各事業の利用状況について	1～2 ページ
(2)	生活の場づくりとサービスの向上について	2 ページ
(3)	職員組織と機能強化について	2 ページ
(4)	財務（会計）管理について	2 ページ
(5)	食事サービスについて	2～3 ページ
(6)	入浴サービスについて	3 ページ
(7)	保健・医療サービスについて	3～4 ページ
(8)	リハビリテーションについて	4 ページ
(9)	行事及びレクリエーションについて	4～5 ページ
(10)	地域交流サロン「かつら」について	5 ページ
(11)	ボランティア活動について	5 ページ
(12)	防災・事故防止について	5 ページ
(13)	その他	5 ページ
(14)	各事業実績（平成31年3月31日現在）について	6～7 ページ
①	施設利用者利用状況	
②	施設利用者介護度状況	
③	施設利用者日常生活動作～寝たきり度	
④	施設利用者認知症日常生活自立度	
⑤	施設利用者出身地別構成	
⑥	施設利用者年齢構成	
⑦	短期入所者利用状況	
⑧	デイサービスセンター利用者利用状況	
⑨	食の自立支援事業（給食サービス）利用状況	
⑩	地域交流サロン「かつら」利用状況	
3	利用者行事等の実施状況について	8～9 ページ

1 はじめに

日本における超高齢社会が進む中、介護を必要とする方々が住み慣れた地域社会で安心して生きがいを持って生活ができるよう平取町の高齢者福祉の拠点となることを目指し、平成元年4月に特別養護老人ホーム平取かつら園及び短期入所(ショートステイ)が開設、また、平成8年4月には、在宅福祉サービスとしてデイサービスセンターを開設しました。また、平成29年1月からは介護予防の目的で地域交流サロン「かつら」を開始し、12月から平取町介護予防・生活支援サービス事業通所型サービスC(短期集中リハビリ)の受託を開始し、さらに、平成30年4月には平取町介護予防・生活支援サービス事業通所型サービスA(緩和型)の受託を開始、地域における期待と役割を担い30年を経過したところでもあります。

開設以来、平取かつら園も地域福祉の推進・充実した施設福祉を目指し、貴重な経験と実績を生かしながら、専門的機能と福祉人材を活用し、在宅福祉についてもこれまで以上に役割を果たしてきたところでありますが、介護保険制度から3年毎の介護報酬の改定等や物価の高騰などの諸事情があり、施設経営が非常に厳しい状況は変わっておりません。

事業報告にあたりましては、平取町をはじめ各関係機関、団体、地域住民の方々、町内外のボランティアから寄せられました多大なるご支援と温かいご高配に心から感謝とお礼を申し上げますと共により一層のご支援・ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2 施設経営について

施設経営にあたりましては、法人の「事業の基本方針」並びに、当施設の「事業計画」に基づき、施設利用者のニーズを十分に取り入れ利用者の立場に立った生活、生きがいの場であるという「利用者本位」の考え方に立って、より良い介護サービスの提供に努めてまいりました。

(1) 各事業の利用状況について

施設利用実績については、今年度より5床(名)増やし定員55床(名)となりましたが、4月から7月までは、入所判定委員会での順位で入所予定とされた方が諸事情で入所できないことなどで満度の55床(名)にはならずこの1年間の利用延べ人数は18,882人と昨年よりも800名以上多くなっておりませんが、施設の年間計画目標稼働率は98%に対し94.06%のとなり、3.94%低くなった結果となりました。

なお、年度中に、長期入院や死亡等で退所された方は13名(男性7名、女性6名)となっており、入所待機者の状況については、地域の高齢化が進むなか在宅福祉の推進もありますが、年度末では28名(男性12名、女性16名)となっております。

ショートステイ事業については、利用延べ人数が1,125人、一日の平均利用者数は3.08人になっており、目標利用者数3.0人で若干多くなった結果となっております。

デイサービス事業については、開設303日、利用延べ人数は7,453人となり、一日の平均利用者数は24.60人になっており、前年度(7,184人)より利用者269人の増加となる結果となりました。

また、開設日数が地震の影響で3日間休止した関係で3日間減りました。

デイサービス事業についての利用者数が増加した要因として、長年にわたり、平取町及び居宅事業者との交渉を行っていた結果、利用頻度が上がったこと及び利用者個々の介護度の見直しの結果と考えられます。

平取町社会福祉協議会から受託している高齢者世帯への食の自立支援事業の給食サービスは、前年度（3,250食）に対し3,434食となり、184食の増加となっています。

なお、各事業の利用状況の詳細については、6～7Pをご参照願います。

（2）生活の場づくりとサービスの向上について

施設利用契約に基づき生きがいと喜びにつながる生活の場づくりと質の高いサービスの向上を図り、施設利用者一人ひとりの人格と人権を尊重し、更には福祉ニーズの把握に努め、心の通った適切なサービスになるよう、計画・実行（実践）・反省（評価）・改善のシステムを取り入れながら実践してまいりました。

（3）職員組織と機能強化について

施設経営の円滑かつ効率化を図るため職員組織の充実と機能強化に進めてきましたが、反省にたつて職員組織の見直しや職員としての意義・意欲等についても問い直し、マンネリ化を防ぐためにも、人間関係の再構築、職務に対しての認識を再確認する必要があります。

全国的にも介護員、看護師、調理員不足が深刻な社会的な問題となっており、当施設でも介護員、調理員の応募が少ない状況であり、今後は、応募の方法など検討が必要と思われます。

職員研修について、職員の人員不足のため、計画どおりに参加させることができなく、今年度は、必要な研修に参加させ、職員自身の意識向上と利用者の質の向上を目指していきます。

（4）財務（会計）管理について

平取かつら園拠点区分の会計につきましては、施設全体の経費節減、特養の入退所の早期入替え、デイサービスでは利用頻度の拡大等などに職員が一丸となって努力した結果、資金収支計算書による収入は289,996,659円で、支出は298,751,842円、資金収支活動差額はマイナス8,755,183円、施設整備等収支・その他活動収支含め、当期資金収支差額はマイナス13,367,476円で決算したところでございます。前期末支払残高69,288,023円から当期資金収支差額分13,367,476円を引いた55,920,547円が当期末支払資金残高となります。

今後の施設経営につきましては、経年劣化に伴う修繕や入所者の入退院の増加が予想され、益々、施設経営が厳しくなり、引き続きの経費節減を実行し、介護報酬については、国の動向を的確に把握しながら健全な施設経営ができるよう平取町及び法人と協議しながら進めていきたいと考えております。

（5）食事サービスについて

施設利用者への食事サービスは、保健・医療サービスとともに直接的に生命にかかわるサービスであり、利用者にとっても最も楽しみにしているものです。また、常に食品衛生面に注意しながら、施設利用者の健康状態や嗜好の状況を把握し、一人ひとりがより美味しく、より楽しく食事をしていただくよう配慮しながら提供できるよう努力を重ねておりますが、利用者の重度化に伴い、誤嚥防止に努めていますが、目を離せない利用者が増えている現状です。

施設利用者の食事サービス状況は、次のとおりとなっております。

(人／(一部重複))

	普通食	粥食	刻み食	極刻み食	ミキサー食	経管栄養
男	2	8	2	5	1	1
女	15	22	13	11	4	1
計	17	30	15	16	5	2

(6) 入浴サービスについて

施設利用者への入浴は、生きがいづくりのひとつとしてサービスの重点にあげながら清潔感、爽快感を味わってもらおうと共に、機能訓練も兼ねて介助、援助にあたっています。平成30年度についても、月・火・木・金曜日を入浴日として、一般入浴、車椅子入浴、ストレッチャー入浴の3種類に分けて、最低、週2回は施設利用者全員に入浴していただいております。状況に応じた介助にあたっています。

なお、入浴の状況は次のとおりとなっております。

(人)

一般入浴		車椅子入浴		ストレッチャー入浴	
男	女	男	女	男	女
2	9	3	22	5	14
11		25		19	

(7) 保健・医療サービスについて

施設利用者の健康を保持・管理し、疾病状況に対応する保健・医療サービスは、常勤の看護師3名が日常的に健康チェックしながら嘱託医と相談し指示を受けながら看護にあたりました。

嘱託医(平取町国民健康保険病院長・内科医長)については、週1回(平日)に来園し、回診を行う一方、平取町国民健康保険病院と連携を保ちながら施設利用者の疾病の程度に応じて、与薬・通院・入院の処置をとってもらっていますが、どの利用者についても、疾病・障害をもっていますので、いつ何時、体調が急変する可能性があり、昼夜にわたりオンコール体制を強化しているところです。

今後は、更に保健・医療サービスについても、利用者の疾病状態を常に把握しながら適切な処置・対応ができるように努めてまいります。

なお、通院・入院状況は次のとおりとなっております。

①月別通院状況

(延人)

	平取町国保病院			苫小牧市内の病院			平取町内の歯科医院			総計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
4月	4	13	17	2	2	4	0	2	2	23
5月	5	9	14	3	2	5	1	2	3	22
6月	3	6	9	3	3	6	3	3	6	21
7月	1	13	14	3	4	7	1	4	5	26
8月	4	15	19	3	4	7	0	1	1	27
9月	2	5	7	3	6	9	1	2	3	19
10月	2	10	12	5	5	10	0	1	1	23
11月	6	11	17	3	5	8	0	1	1	26

12月	5	7	12	3	4	7	2	1	3	22
1月	7	21	28	1	2	3	0	0	0	31
2月	4	9	13	1	4	5	0	0	0	18
3月	4	6	10	0	5	5	0	0	0	15
延数	47	125	172	30	46	76	8	17	25	273

※3か月毎のしのじま皮膚科・たに眼科（苫小牧市）の往診診療の延人数は除いています。

②通院時の受診科実数及び入院実数

(人)

受診科別実数				月別入院者実数			
受診科別	男	女	計	月	男	女	計
内科	8	31	39	4月	0	2	2
外科	8	8	16	5月	2	2	4
整形外科	6	6	12	6月	2	4	6
もの忘れ外来	2	1	3	7月	1	3	4
循環器内科	0	2	2	8月	0	4	4
泌尿器科	3	1	4	9月	0	5	5
皮膚科	0	5	5	10月	0	4	4
口腔外科	1	0	1	11月	3	2	5
脳神経外科	1	0	1	12月	2	1	3
精神科	3	2	5	1月	3	6	9
歯科	4	6	10	2月	3	4	7
耳鼻科	1	1	2	3月	0	0	0
計	37	63	100	計	16	37	53

入院者実数	53人	入院延日数	708日
-------	-----	-------	------

(8) リハビリテーションについて

施設利用者につきましては、日常生活動作をリハビリテーションの一環と位置付け、生活の活性化を図り、生活にアクセントを持たせ、機能回復などにも努め適切に対応した介助ができるよう研究、実践を重ねてまいりました。

デイサービスでは、作業療法士を雇用し、身体機能の訓練を行うことで、住み慣れた地域で少しでも長く在宅生活が継続していただけるために努めており、また、以前からのから介護予防の強化のため、平取町介護予防・生活支援サービス事業通所型サービスC(短期集中リハビリ)を平取町から受託し、さらに平取町介護予防・生活支援サービス事業通所型サービスA(緩和型)も平取町から受託し開始したところであります。

(9) 行事及びレクリエーションについて

季節的行事及びレクリエーション、特別行事なども企画実施し、単調な生活にならないよう変化を持たせ、期待感をもった楽しい生活になるよう創意工夫をこらしながら実施してきております。

また、歌・舞踊などの観賞会については、地域のボランティアグループ、特別支援学校・中学生の方たちの訪問などがあり、施設利用者との交流を深めながらの行事を継続しています。

今後はさらに施設利用者の実態に応じながら、行事そのものの見直しを行い、内容、方法などにも検討を加え、生きがいと楽しみにつながるような行事・レクリエーションとなるよう工夫し実施していきます。

なお、当施設のメイン行事として、地域とのふれあい交流を促進し、理解と協力を得る行事として『第28回かつら園まつり』は7月22日開催し、施設利用者の家族をはじめとして、多くの地域の方々の参加を得て盛会に終えることができました。

(10) 地域交流サロンについて

社会福祉法の改正に伴い、社会福祉法人の公益活動の責務の義務化に伴い、平成29年1月より平取生活館にて、少しでも住み慣れた地域で自分らしい生活を送ることができる町づくりの一環として、地域交流サロンを毎週火曜日に2時間程度実施しています。

平均27名程度（本町地区）の利用があり、介護予防体操を中心に活動していますが、職員だけで活動することではなく、ボランティアグループ（かつら会）及び町保健福祉課の支援を受けながら実施しており、利用者からの反響がよく、参加希望の利用者が増えつつあり、今後も継続していきたいと考えております。

(11) ボランティア活動について

善意あふれる地域ボランティア活動は、施設利用者のサービスの向上、ふれあい地域交流・生きがいづくりの大きな支えとなっております。

施設定例行事や特別行事には必ずといってよいほどボランティアグループの方々が来園され、大きな喜びや楽しみを与えてくださいましたし、訪問ボランティアばかりでなく、作業ボランティアの方々も定期的に来園され、窓ふき、オムツたたみなどの清掃活動も行って頂いたほか、施設利用者との交流により、福祉施設に対する理解が一段と深められたものと思います。

(12) 防災・事故防止について

災害は予期もせずによってきますので、施設利用者・デイサービス利用者の「生命安全」を第一に防護・防災計画を立て、日常的な火災予防、生活安全、交通安全の意識の高揚とともに防護・防災体制の確立、避難訓練の実施など万全を期してまいりました。自然災害・夜間における火災想定避難訓練は7月25日実施、日中における火災想定避難訓練は3月20日にそれぞれ消防署の指導を受け実施しております。

(13) その他

広報紙『かつら園だより』（年2回発行）や『デイサービスだより』（年2回発行）を通じて、施設利用者、デイサービス利用者及びその家族に運営状況を知っていただき、理解、支援、協力関係を更に深めるよう努力をしてまいりました。今後も更に広報活動なども活発にしていきたいと考え、施設利用者・デイサービス利用者の方々の生活に安心・潤い・ゆとりをもってもらい、平取かつら園が地域の高齢者福祉の拠点として、また、地域住民の方々にとってもひとつの憩いの場としてふさわしい環境整備に努めてまいります。

(14) 各事業実績(平成31年3月31日現在)について

① 施設利用者利用状況

年度	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
平成30年	稼働率	93.15%	91.44%	88.30%	91.73%	92.73%	95.45%	97.30%
	利用延数	1,537	1,559	1,457	1,564	1,581	1,575	1,659
平成29年	稼働率	98.07%	101.48%	100.20%	99.55%	99.55%	98.00%	99.35%
	利用延数	1,471	1,573	1,503	1,543	1,543	1,470	1,540
比較	稼働率	-4.92%	-10.04%	-11.90%	-7.82%	-6.82%	-2.55%	-2.05%
	利用延数	66	▲14	▲46	21	38	105	119

年度	項目	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成30年	稼働率	95.82%	97.48%	91.73%	94.68%	98.83%	94.06%
	利用日数	1,581	1,662	1,564	1,458	1,685	18,882
平成29年	稼働率	98.47%	97.29%	94.52%	98.50%	98.77%	98.65%
	利用日数	1,477	1,508	1,465	1,379	1,531	18,003
比較	稼働率	-2.65%	0.19%	-2.79%	-3.82%	0.06%	-4.59%
	利用延数	104	154	99	79	154	879

(延人)

② 施設利用者介護度状況

年度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均介護度
平成30年	0	8	14	22	11	55	3.65
平成29年	0	1	12	26	12	51	3.96

(人)

③ 施設利用者日常生活動作～寝たきり度

年度	自立	軽度		準寝たきり		寝たきり				合計
		J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	
平成30年	0	0	0	1	6	12	20	7	9	55
平成29年	0	0	0	0	8	14	19	4	6	51

(人)

④ 施設利用者認知症日常生活自立度

年度	自立	軽度	中度	重度	合計
		(I)	(IIa~IIb)	(IIIa~M)	
平成30年	0	2	10	43	55
平成29年	0	2	7	42	51

(人)

⑤ 施設利用者出身地別構成

地区	男	女	計
川向	1	1	2
紫雲古津	0	3	3
去場	1	6	7
荷菜	1	4	5
本町	2	14	16
二風谷	1	3	4
貫気別	0	3	3
芽生	1	0	1
長知内	0	1	1
荷負	0	1	1

地区	男	女	計
振内町	2	4	6
岩知志	0	2	2
平取町内計	9	42	51
日高町	1	2	3
苫小牧市	0	1	1
平取町以外	1	3	4
合計	10	45	55

(人)

⑥ 施設利用者年齢構成

区分	男	女	計
65才~69才	0	0	0
70才~79才	1	4	5
80才~89才	5	18	23
90才~99才	4	20	24
100才以上	0	3	3

(人)

平均年齢	
男	87.40歳
女	89.51歳
全体	89.13歳

⑦ 短期入所利用者利用状況

年度	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
平成30年	一日平均	3.27	3.71	3.17	3.23	3.23	2.83	3.48
	利用者数	98	115	95	100	100	85	108
平成29年	一日平均	4.37	5.23	5.00	5.00	4.81	4.63	5.48
	利用者数	131	162	150	155	149	139	170
比較	一日平均	-1.10	-1.52	-1.83	-1.77	-1.58	-1.80	-2.00
	利用者数	▲ 33	▲ 47	▲ 55	▲ 55	▲ 49	▲ 54	▲ 62
年度	項目	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
平成30年	一日平均	3.93	3.52	1.87	2.14	2.55	3.08	
	利用者数	118	109	58	60	79	1,125	
平成29年	一日平均	5.37	4.77	3.84	3.71	3.74	4.67	
	利用者数	161	148	119	104	116	1,704	
比較	一日平均	-1.44	-1.25	-1.97	-1.57	-1.19	-1.59	
	利用者数	▲ 43	▲ 39	▲ 61	▲ 44	▲ 37	▲ 579	

※平成30年度より定員5名→3名に変更したので、人数が減っている。

(延人)

⑧ デイサービス利用者利用状況

年度	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
平成30年	一日平均	24.80	25.59	25.04	24.81	25.41	26.00	25.52
	利用者数	620	691	651	645	686	520	689
平成29年	一日平均	21.52	22.00	22.96	23.42	23.11	23.84	22.69
	利用者数	538	594	597	609	624	596	590
比較	一日平均	3.28	3.59	2.08	1.39	2.30	2.16	2.83
	利用者数	82	97	54	36	62	▲ 76	99
年度	項目	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
平成30年	一日平均	23.38	22.96	23.33	23.92	24.42	24.60	
	利用者数	608	574	560	574	635	7,453	
平成29年	一日平均	23.38	23.73	23.42	25.91	24.19	23.32	
	利用者数	608	617	562	596	653	7,184	
比較	一日平均	0.00	-0.77	-0.09	-1.99	0.23	1.28	
	利用者数	0	▲ 43	▲ 2	▲ 22	▲ 18	269	

(延人)

⑨ 食の自立支援事業(給食サービス)利用状況

年度	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
平成30年	利用食数	308	352	283	261	276	199	288
平成29年	利用食数	225	265	283	254	316	285	277
比較	利用食数	83	87	0	7	▲ 40	▲ 86	11
年度	項目	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
平成30年	利用食数	318	318	295	255	281	3,434	
平成29年	利用食数	272	270	216	260	327	3,250	
比較	利用食数	46	48	79	▲ 5	▲ 46	184	

(延食)

⑩ 地域交流サロン「かつら」利用状況

年度	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
平成30年	一日平均	29.30	29.80	26.30	24.20	20.30	22.00	25.00
	利用者数	117	149	105	121	61	66	125
平成29年	一日平均	26.30	22.20	23.50	24.80	26.50	24.50	26.40
	利用者数	105	111	94	99	106	98	132
比較	一日平均	3.00	7.60	2.80	-0.60	-6.20	-2.50	-1.40
	利用者数	12	38	11	22	▲ 45	▲ 32	▲ 7
年度	項目	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
平成30年	一日平均	26.50	28.80	31.30	30.80	29.80	27.20	
	利用者数	106	115	125	123	119	1,332	
平成29年	一日平均	31.30	25.30	29.30	27.00	28.30	26.20	
	利用者数	125	101	117	81	113	1,282	
比較	一日平均	-4.80	3.50	2.00	3.80	1.50	1.00	
	利用者数	▲ 19	14	8	42	6	50	

(延人)

3. 利用者（平取かつら園・デイサービス） 行事等実施状況について

月 日	行事等	内 容 等
4 月 1 日	平成30年度開始 （開園記念日） 在宅サービス	ホーム利用者51名（男15名女36名）職員（ホーム37名デイ15名 計52名）で事業開始し、昼食時に開園30周年を祝う。 施設サービスと併せショートステイ事業・デイサービス事業を開始する。また、地域交流サロン・食の自立支援事業（平取町社会福祉協議会から委託）を開始する。
	医師の回診	週1回、ホーム利用者の健康管理のため、平取町国民健康保険病院の院長若しくは内科医長が来園し、回診を実施する。
	医師の往診	3ヶ月に1回苫小牧市のしのじま皮膚科・たに眼科が往診をいただいている。
	園内定例入浴	通年で週4回（月・火・木・金）の定例入浴を実施する。
	理 髪	毎月1回、本町の植木理容院が理髪のため来園する。
	ボランティア	毎週火曜日にボランティアサークル「かつら会」2～6名洗濯たため・地域交流サロン援助等で来園する。
	誕生会	毎月、ホーム・デイサービスで実施する。
	辞令交付式	理事長より新年度の挨拶及び辞令交付式（昇格・昇給等）を実施する。
	健康診断	ホーム利用者の健康診断開始（6回に分けて実施）する。
3 日	不在者投票	ホーム北海道知事選挙不在者投票を実施する。（27名投票）
7 日	ボランティア	花壇整備3名
29 日	ボランティア	天理教窓ふきボランティア4名が来園し実施する。
5 月 12 日	母 の 日	宇南山商事よりホーム女性利用者に花束プレゼントされる。
20 日	地 域 行 事	フラワータウンフェスタ（義経街道花の応援団）に職員10名参加する。
6 月 14 日	デ イ 行 事	デイ焼肉週間を20日まで実施する。
16 日	父 の 日	宇南山商事よりホーム男性利用者に花束プレゼントされる。
20 日	園 内 レ ク	ホーム焼肉昼食会を実施する。
27 日	ボ ラ ン テ ィ ア	花壇整備28日まで4名
7 月 9 日	学 生 実 習	北海道科学大学薬学部1名
16 日	ボ ラ ン テ ィ ア	天理教窓ふきボランティア7名が来園し実施する。
20 日	ボ ラ ン テ ィ ア	平取養護学校3年8名、花植えボランティアを実施する。
22 日	施 設 行 事	第28回かつら園まつり実施する。
24 日	学 生 実 習	デイサービスに平取高校生1名
25 日	避 難 訓 練	ホーム・デイ合同による自然災害・夜間想定避難訓練を実施する。
8 月 8 日	園 内 レ ク	大正琴（琴振会9名）演奏会を実施する。
15 日	園 外 レ ク	義経神社祭典のため、8町内の子供による神輿が来園する。
24 日	ボ ラ ン テ ィ ア	平取養護学校3年8名、花壇草取りボランティアを実施する。
25 日	地 域 行 事	平取町社会福祉協議会主催の「ふれあい広場」職員5名参加する。
9 月 6 日	デ イ 休 止	胆振東部地震デイサービス休止11日まで
18 日	ボ ラ ン テ ィ ア	平取養護学校プランター設置
10 月 3 日	健 康 診 断	ホーム利用者の健康診断開始（4回に分けて実施）する。
11 日	デ イ 行 事	敬老週間を17日まで実施する。
17 日	施 設 内 研 修	体位交換17名参加
23 日	職 場 体 験 実 習	平取高校生23名、デイにて職場体験実習を24日まで実施する。
24 日	茶 話 会	ホーム茶話会実施
25 日	ボ ラ ン テ ィ ア	平取養護学校清掃活動

月 日	行事等	内 容 等
11月 2日	園 外 レ ク	ホーム利用者5名、平取町文化祭見学する。
12日	デ イ 行 事	芋煮会17日まで
21日	避 難 訓 練	ホーム・デイ合同による災害（日中）想定避難訓練を実施する。
22日	ボ ラン ティ ア	平取養護学校清掃活動
22日	園 内 レ ク	平取中学3年生の交流会をホーム食堂にて実施する。
28日	予 防 接 種	入所者インフルエンザ予防接種26名
29日	ボ ラン ティ ア	平取養護学校清掃活動
12月 3日	予 防 接 種	入所者インフルエンザ予防接種27名
5日	園 内 レ ク	平取婦人会慰問9名
13日	デ イ 行 事	デイクリスマス週間を19日まで実施する。
19日	園 内 レ ク	ホームクリスマス会を実施する。
26日	園 内 レ ク	ホーム餅つき会を実施する。
31日	園 内 レ ク	ホーム夕食時に、年越会を実施する。
1月 1日	園 内 レ ク	ホーム朝食時に、新年交礼会を実施する。
7日	辞 令 交 付 式	理事長より年頭の挨拶及び辞令交付式を実施する。
17日	デ イ 行 事	デイ新年親睦週間23日まで実施する。
21日	寄 贈	公益社団法人苫小牧地方法人会平取支部よりセンサーマットの寄贈を受ける
2月 1日	デ イ 行 事	デイ豆まき（節分）週間を7日まで実施する。
20日	園 内 レ ク	ホーム豆まき（節分）実施する。
3月 20日	避 難 訓 練	ホーム・デイ合同による日中想定避難訓練を実施する。
25日	デ イ 行 事	デイナー年間通所ご苦労様週間を30日まで実施する。
31日	平成30年度終了	<p>①特別養護老人ホーム事業 入所定員55名</p> <p>②ショートステイ事業 年間延利用者数 1,125名 1日平均利用者数 3.08名</p> <p>③デイサービス事業 年間延利用者数 7,453名 1日平均利用者数 24.60名 年間開催日数 303日 年度未登録人数106名（予防40名・介護66名）</p> <p>④食の自立支援事業（平取町社会福祉協議会からの委託） 年間延食数 3,434食</p> <p>⑤地域交流サロン事業 年間延利用者数 1,332名（49回開催） 1回平均利用者数 27.2名</p>

平成30年度

事業報告書

社会福祉法人 平取福祉会
軽費老人ホーム

ケアハウス しずか

歳となっており、入居者全体の3割にあたる6名の方が90歳代でした。

年代	男性	女性	合計
60歳代		1名	1名
70歳代	1名	1名	2名
80歳代	3名	8名	11名
90歳代	2名	4名	6名
合計	6名	14名	20名

(4) 要介護度状況

平成30年度末現在の介護度別状況は、入居者全体の5割にあたる11名の方が要支援者、要介護者という状況で、うち4名が要支援者、6名が要介護者でした。

介護度	男性	女性	合計
要支援1	2名	3名	5名
要支援2	2名	1名	3名
要介護1		1名	1名
要介護2		1名	1名
要介護3		1名	1名
合計	4名	7名	11名

(5) 入退去の状況

平成30年度中における入退去の状況は、退去者数4名、入居者数4名でした。4名の退去者は2名が死亡により退所、1名が他施設への転居、1名が在宅に戻り退所となっています。

(6) 待機者の状況

平成30年度末時点の待機者数は10名ですが、今すぐの入居希望が少なく、先を見据えての申し込みが増えている状況でした。

4 施設運営について

(1) 入退所について

高齢化に伴い体調を崩し入院、そして退所にいたる利用者が多くなってきました。また、新たに入居される方についても、介護認定を受けている方からの申し込みが増加傾向にあります。こうしたことから、ケアハウスとして受入体制をどこまで広げていく必要があるかということが今後の課題となっています。

(2) 施設管理について

入居者が安心して生活できるよう毎年建物や設備の定期的な点検を実施していますが、開設から15年が経過し、建物の経年劣化や設備の老朽化が原因で修繕費が増加傾向となっています。このため、今後建物の大規模な修繕や設備の更新を計画的に実施していかなければなりません。

保守点検等の状況（回数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
居室点検	1		1				1						3
エレベーター点検		1			1			1			1		4
浄化槽点検			1									1	2
ボイラー点検					2						1		3
自動扉点検					1						1		2
消防設備点検						1						1	2
計	1	1	2		4	1	1	1			3	2	16

(3) 非常災害対策について

東日本大震災や胆振東部地震を教訓に火災だけでなく、水害、土砂災害、地震等にも対処するため、今年度非常災害に対する具体的な計画を策定しました。また、計画にもとづき、避難、救出訓練を消防職員の指導のもと実施しました。

入居者の中には自力での避難が困難な方もいますので、今後、自治会等との避難時の協力関係を構築していくことが必要であると考えています。

避難訓練の状況

	実施日
避難訓練	6月25日
防災訓練	10月3日
夜間想定避難訓練	10月18日

(4) 職員の資質向上について

施設長を含め4名の職員で施設運営しているため、外部研修の機会が少ない状況でしたが、職員会議等で新たに入居した方の支援の確認や身体機能に低下等のある入居者の状況報告や支援内容の確認を行うことにより、職員の意識向上に努めました。

(5) 地域との連携について

入居者の施設外での活動を積極的に奨励しました。老人クラブや文化団体等への加入を促進し、町内会が主催する花見会や敬老会などには積極的に参加を呼びかけました。また、施設内行事ではボランティア団体を招くなどして地域に開かれた施設として

外部との交流を図りました。

ボランティア団体との交流状況

団体名	時期
芳誠会	7月
平取婦人会	8月
きみかげ草	11月
富川照翠民謡会	3月

5 入居者の処遇について

(1) 食事の提供

日常の食事の状況や入所者との会話、嗜好調査を通じて個々のニーズを把握し、より美味しく、より楽しい食事を提供できるよう雰囲気づくりに配慮しました。委託業者とは毎月給食会議を開き、献立や調理員の接遇についても話し合いを重ねています。また、入所者の嚥下や咀嚼の状況、食欲などの心身の状態等を食事に反映させるため、調理員との連絡を十分とりながら、おかゆ（毎食2名、夕食のみ3名）やきざみ食を提供するなど調理方法を工夫することによる適切な対応を心がけました。

嗜好調査の内容と結果は次のとおりとでした。

- ◇調査対象 しずか入居者
- ◇調査期間 平成30年11月1日～11月10日
- ◇回収結果 対象者20名 回収7名 回収率35%

問1 ご飯またはおかゆの硬さはどうですか

回答者数	ちょうど良い	硬い	やわらかい	その他
7	6	1	0	0

問2 みそ汁の温度はどうですか

回答者数	ちょうど良い	あつい	ぬるい	その他
7	7	0	0	0

問3 みそ汁の味付けはどうですか

回答者数	ちょうど良い	しょっぱい	うすい	その他
7	5	1	1	0

問4 副食（おかず）の味付けはどうですか

回答者数	ちょうど良い	しょっぱい	うすい
7	5	1	1

問5 副菜（野菜）のかたさはどうですか

回答者数	硬い	ちょうど良い	うすい	その他
7	3	3	0	1

その他の回答
硬いときがある。調理をする人によって違う

問6 毎日の食事はどうですか

回答者数	普通	満足している	不満がある
6	4	2	0

問7 献立に変化があり工夫されていますか

回答者数	工夫されている	もう少し変化をつけてほしい
7	6	1

問8 おかずについて教えてください

食べたいおかずを書いてください

回答
<ul style="list-style-type: none"> ・根菜類が食べたいです。 ・生野菜がもう少し多ければと思います

問9 鶏肉・豚肉・牛肉料理はいかがですか

回答
<ul style="list-style-type: none"> ・豚肉がいいです ・いろいろ工夫されてよいと思います

問10 または月に何回食べたいですか

回答者数	週1回	2週間に1回	たまにでいい	月1回
6	4	1	1	0

問11 パンは週または月に何回食べたいですか

回答者数	週1回	2週間に1回	たまにでいい	月2回
5	3	1	1	0

好きなパンの種類を教えてください

回答
・なんでもいいです ・フランスパン ・たまにトーストが食べたいと思います ・豆パン

問 12 揚げ物の頻度はいかがですか

回答者数	普通	多い	少ない
7	5	1	1

問 13 食事のメニューで感じたことがあれば書いてください。

回答
・ないです ・毎日のことなのによく考えて下さって感謝しています

問 14 その他、普段気になっていること、食事に対してのご意見ご要望があれば書いてください

記載なし

(2) 生活相談等

入居者の心身の状況及び置かれている環境等の的確な把握に努め、入居者又はその家族に対し、各種相談に適切に応じるとともに必要な助言又は援助を行いました。また、アンケート調査や懇談会を開き、入居者一人ひとりの生活全般のニーズの把握に努め、充実した生活をしていただけるようきめ細やかな対応を心がけました。

生活アンケート調査の内容と結果は次のとおりでした。

◇調査対象 しずか入居者

◇調査期間 平成30年11月1日～11月10日

◇回収結果 対象者20名 回収7名 回収率35%

問 1 入浴について

① 浴室や脱衣室等の使い勝手はいかがですか

回答
・よい ・よろしい ・大変きれい ・お湯が少し熱い ・使いやすい

② 壊れている箇所など気になることがあれば書いて下さい

回答
・ない

問2 レクリエーション（脳トレ・カラオケ・手芸・ぬりえ）について

① 意見があれば書いてください。

回答
・みんな好きです ・今のペースで良いと思います

② 絵手紙を継続して行いたいですか

回答者数	参加したい	たまにでよい	年2回程度	いらない
7	4	1	1	1

問3 季節の行事（クリスマス会、花見会、敬老会など）及び誕生会、昼食会、ドライブなどについて

① 町内昼食会で行きたい場所がありますか

回答
・ない

② 買い物の回数はいかがですか

回答者数	今のままでいい	もう少し増やして欲しい
5	5	0

③ 買い物にどこか行きたい場所がありますか

回答
・ないです

④ 季節の行事で何か気づいた事などがあれば書いてください

回答
・ないです

問4 共有場所（ふれあいスペース、洗濯室、食堂など）について

① 清潔で気持ちよく使用できていますか

回答者数	はい	どちらともいえない	いいえ
5	5	0	0

② しずかの生活で規則がいくつかありますが、何か気づいたことがあれば書いて下さい

回答
・ないです

問5 職員について

① 親切に対応してくれますか

回答者数	良い	どちらともいえない	悪い
6	6	0	0

② 施設に対する不満や要望を気軽に言うことができますか

回答者数	言える	言いやすい	言いづらい	言わない
4	1	3	0	0

問6 その他について

① 苦情受付箱があるのは知っていますか

回答者数	知っている	どこにあるか知らない
7	7	0

② 居室の中に非常ボタンが2か所ありますが、どこにあるか知っていますか

回答者数	知っている	どこにあるか知らない
7	7	0

③ 部屋で壊れている場所があれば書いて下さい

回答
・ないです

(3) 余暇活動への支援

介護予防を考慮した健口体操や脳トレ、季節の行事、レクリエーションの参加を促進し、趣味活動への取り組みを積極的に支援しましたが、高齢化が進み、参加人数が減少傾向にあります。

行事等の実施状況 (日数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開設記念日	1												1
誕生会	1		1	1	1	1		1	1		1	1	9
花見ドライブ		8											8
花見会		1											1
居酒屋しずか				1	1								2
七夕飾り					1								1
敬老会							1						1

文化祭								2					2
クリスマス会									1				1
年越し会									1				1
新年会										1			1
節分豆まき											1		1
雪あかり											1		1
計	2	9	1	2	3	1	1	3	3	1	3	1	30

レクリエーションの実施状況（開催日数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
脳トレ	1	1	1	5	2	2	2	3	2	4	3	3	29
百人一首	1	1	1	1	1	1	1						7
手芸	1	1	1	2		1			2			1	9
カラオケ	1	3	2	3	2	4	6	4	4	3	4	2	38
買物ツアー	3		3		2		3		2		2		15
100歳体操			1			1				1	1	1	5
町内外食の日			2								2		4
ぬり絵			1			1				1			3
居酒屋しずか				1	1								2
絵手紙				1	1		1	1		1		1	6
計	7	6	12	13	9	10	13	8	10	10	12	8	118

(4) 居宅サービス等の利用

平成30年度末現在10名の入居者が介護保険サービスを利用していますが、入居者が必要とする介護保険サービスを円滑に利用できるよう近隣の居宅サービス事業所や医療機関とも連携を図りながら情報の提供を行うなど必要な支援をしました。

介護サービスの利用状況は次の表のとおりでした。

介護保険サービスの等の利用状況（重複有り）

種類	男性	女性	合計
ヘルパー訪問	5名	6名	11名
デイサービス	3名	5名	8名
ショートステイ		1名	1名
福祉用具のレンタル		3名	3名
全体	8名	7名	23名

(5) 健康保持

毎朝、職員が利用者一人ひとりの居室を訪問し、健康状態の把握に努めました。その中で体調不良の利用者がいた時には、医療機関への早期受診を勧めるとともに、家族への状況報告の電話も徹底しました。また、毎月定期的に保健師による健康相談・血圧測定を実施し病気の早期発見に努めました。

服薬管理が必要な入居者（3名）については、入居者ごとに服薬のチェックを行い、一括手渡しではなく、服用ごとに配布しました。

(6) 衛生管理等

感染症及又は食中毒が発生しないよう職員会議等で打ち合わせを行いました。また、関係機関が開催する研修会に参加し、情報の収集に努めるとともに、入居者に対しても手洗いの励行を啓蒙しました。

6 日課表

時間	内容
	起床
7 : 4 0	ラジオ体操
7 : 4 5	朝食
8 : 3 0	下膳 余暇（娯楽・ゲーム）
1 1 : 4 5	軽体操・健口体操
1 2 : 0 0	昼食
1 2 : 4 5	下膳
1 3 : 0 0	余暇（娯楽・ゲーム・軽体操） 入浴（月・水・金）1 3 : 0 0～1 7 : 0 0
1 7 : 3 0	夕食
1 8 : 1 5	下膳

平成30年度

事業報告書

社会福祉法人 平取福社会
相談支援事業所「なないろ」

事業報告書 目次

1. はじめに	1
2. 経営計画に関わる概要	1
3. 相談等の実施実績	1
① 実施日数	1
② 相談受付ルート	1
③ 相談方法の状況	1
④ 障害別利用件数	1
⑤ 相談内容	2
4. 相談種別件数	2
① 基本相談	2
② 特定相談(サービス等利用計画 ・モニタリング・定着等)	2
③ その他(認定調査・同行・生活困窮)	2
④ 権利擁護	2
5. 緊急対応及び虐待防止対応	2
6. 区分認定調査	2
調査実績	2
7. 職員研修等	2
① 情報交換及び勉強会	2
② 研修	2

1. はじめに

平成30年度の事業といたしましては、福祉サービスを利用している障害者への相談計画書及びモニタリング報告書作成を主に行い、地域生活支援として在宅者の就労・生活状況の確認や相談、及び退院に向けた支援等を行ってきました。

また、計画書等の作成の他、年金申請・生活保護費等についての相談及び協力依頼が、多くはありませんが来るようになってきました。しかし、一人ひとり生活環境や状況が違いうため、必要とする支援も異なっています。一緒に考えたり、関係機関へ問い合わせや協力を求めたりして進めています。

平成30年度から、計画相談等に加え、平取町権利擁護相談支援事業の委託を受けることになりました。平取町・社会福祉協議会・様々な関係機関との連携を図り、見守りから調査・審査・申し立て・後見サービスの提供等が、スムーズに地域の中に担保されるよう励みます。

2. 経営計画にかかわる概要

平成30年度の経営の基本方針をもとに、平取町から委託を受けた基本相談と、平取町指定の特定相談支援事業・障害児相談支援事業、道指定の一般相談支援事業（移行・定着）、その他、各市町村からの委託契約で行う認定調査や必要に応じて他町村との連携等で事業を行ってきました。

3. 相談等の実施実績

① 実施日数 240日

② 相談受付ルート

- ・ 障害福祉サービス事業所 ・ 他町村の相談支援事業所 ・ 行政機関
- ・ 病院 ・ 家族

③ 相談方法の状況

方法	電話	訪問	同行	来所	計
延件数	288	866	4	111	1269

※下記の4点は上記に含む

- ・ 関係機関情報提供・調整
- ・ 家族の相談、会議
- ・ 地域定着支援者 2件
- ・ 認定調査

④ 障害別利用延件数

	知的障害	精神障害	身体障害	発達障害	その他	不明
障害者	940	115	142	3	14	2
障害児	19	0	6	24	0	4
計	959	115	148	27	14	6

計 1269件

⑤ 相談内容

内容	延件数	内容	延件数
福祉サービスの利用関係	426	社会参加関係	41
障害や病状の理解関係	13	余暇活動関係	105
健康・医療関係	294	権利擁護関係	4
不安の解消・情緒安定関係	151	住宅環境関係	89
保育・教育関係	14	施設利用・案内関係	31
家族・人間関係	282	情報提供・確認等関係	383
家計・経済関係	91	行政・制度の説明関係	100
生活技術関係	231	手帳・年金・申請関係	34
移動関係	7	その他の福祉関係	3
就労関係	327		
社会資源の活用関係	86	計	2712

4. 相談種別件数（延数）

① 基本相談	452件
② 特定相談（サービス等利用計画・モニタリング・定着等）	747件
③ その他（認定調査・同行・生活困窮）	63件
④ 権利擁護	7件
	計 1269件

5. 緊急対応及び虐待防止対応 0件

6. 区分認定調査 調査実績 5件（広尾町 えりも町 芦別市 訓子府町）

7. 職員研修等

①情報交換及び勉強会

・日高圏域相談支援連携会議・生活困窮者相談支援事業会議

～日高管内の同事業者（相談支援事業）が集まり、情報交換や事例検討会を月1回開催しています。

・その他の会議

～地域生活における連携及び情報交換並びに生活保護世帯等支援等の勉強会や、医療と福祉の連携会議、権利擁護体制準備委員会、高齢者虐待防止ネットワーク会議、地域発達支援推進協議会等の会議に参加いたしました。

② 研修

・福祉サービス業に係る集団指導をはじめとし、権利擁護施設研修（視察研修）、全道相談支援・地域支援等職員研修会、障がい者地域生活事業エリア研修、相談支援専門員フォローアップ研修、北海道強度行動障害支援者養成研修、障がい者虐待防止・権利擁護研修等への研修に参加いたしました。